

コウノトリ



毎週月曜日更新

# カタカタ通信

第177号

## 「七転び八起き」

2025年5月19日

4月下旬のヒナは、5～7日ほど成長が遅れているようではありましたが、順調に成長していました。食べる量も増え、親と同じくらいの量の餌をもりもり食べていました。元気よく食べてはいましたが、成長はゆっくりで7～10日遅れになったように見えました。親からもらう餌だけでは足りなそうだったので、飼育係からの補助給餌も続けていました。



もりもり食べてます (33日齢)



しんだふりしつつ餌待ち中

冷たい雨の日でした。いつもの半分ぐらいしか食べませんでした。次の日の動きは元気に見えましたが、餌はほとんど食べずにいたため獣医に診てもらいました。前日に雨で濡れていたなので、親からいったん離して室内で温めてみようか、でも親が落ち着かなくなってしまうかも……、と悩みました。スタッフみんなで悩んだ結果、動きは元気そうだったので、親に戻すことにしました。

本来この時期は、親が体の下にヒナを入れて温める段階は過ぎています。親が羽の下に入れようとすると、ヒナは自分で出てしまいました。また親が羽を広げると、今度はおとなしく抱かれていました。その後、何度か親が立ち上がった時にも、ヒナは元気に動いているようでした。しかし、翌朝5時45分に動いたのを最後に動きは見られませんでした。40日齢でした。ヒナを解剖すると、大きな植物の繊維の塊がありました。もう吐きもどすことのできない大きさでした。

残念ながらヒナはいなくなりましたが、空と花と天空の里にとっては初めての育すう（子育て）は、これまでにない貴重な経験となりました。今回ここまでコウノトリと私達の経験アップに協力し、アドバイスをくださったみなさんに感謝いたします。



ここまで大きく育ちました

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター  
飼育担当：しみじい